



2022年6月24日

各 位

会社名 中国塗料株式会社
代表者名 代表取締役社長 伊達 健士
(コード番号：4617 東証プライム)
問合せ先 取締役 管理本部長 小林 克徳
(TEL：03-3506-5852)

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、金融商品取引法第24条の4の4第1項に基づき、2022年6月23日に関東財務局に提出いたしました2022年3月期の内部統制報告書において、開示すべき重要な不備がある旨を記載いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

当社は、2021年12月27日付の訂正内部統制報告書にて開示した2021年3月31日時点における連結子会社のCHUGOKU MARINE PAINTS (Shanghai), Ltd. (以下「CMP上海」という。)及び当社の全社的な内部統制並びにCMP上海の決算・財務報告プロセスに係る内部統制の開示すべき重要な不備については、当連結会計年度末日において依然として開示すべき重要な不備に該当すると判断いたしました。したがって、当連結会計年度末日時点において当社グループの財務報告に係る内部統制は有効でないと判断いたしました。

2. 事業年度末までに是正できなかった理由

当社は、2022年3月に策定した再発防止策を着実に実行しガバナンス体制及び内部統制の強化に努めてまいりましたが、当連結会計年度末日までに十分な期間がなく、開示すべき重要な不備の是正を2022年3月31日までに完了することができませんでした。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、開示すべき重要な不備を是正するため、調査委員会より調査結果報告書を手後、以下のような再発防止策を策定いたしました。

(1) 当社における海外子会社管理の強化

海外子会社を管理する当社組織の明確化及び一元管理、当社の関係会社管理規則及び稟議規則の見直し

(2) CMP上海の管理体制の見直し

会計及び内部統制に関する研修の実施、CMP上海内における日本人駐在員及び現地採用の幹部社員で構成される会議の開催、退職金マニュアルの整備

(3) 経理体制の見直し

CMP上海における会計知識に精通した人材の採用や専門家の活用、当社経理部における連結パッケージの数値情報等に関するチェックの強化

(4) コンプライアンスの徹底

コンプライアンスワークショップの実施

(5) 内部監査体制の強化

監査室の人員拡充、監査計画の見直し及び策定、海外子会社の人事規程類のレビュー

上記の再発防止策については、内部統制報告書提出日までに以下の措置を実施いたしました。

◆ 当社における海外子会社管理の強化

当社に海外管理部を新設し、海外情報の一元管理を実施いたしました。また、当社の関係会社管理規則及び稟議規則を改定いたしました。

◆ 経理体制の見直し

監査法人等に勤務経験のある、税務及び会計の専門家をCMP上海で採用いたしました。

◆ コンプライアンスの徹底

コンプライアンスワークショップ第1回目を実施いたしました。

◆ 内部監査体制の強化

監査室の増員をするとともに、海外子会社の監査にも力点を置いた監査計画を策定いたしました。また、海外子会社の人事規程類のレビューを実施いたしました。

当社は、開示すべき重要な不備を是正するために引き続き再発防止策を着実に実行し、ガバナンス体制及び内部統制の一層の強化を図ることにより、お客様、株主様等、ステークホルダーの皆様の信頼回復に全力で取り組んでまいります。

4. 連結財務諸表等に与える影響

上記の開示すべき重要な不備に起因する必要な修正事項は、全て連結財務諸表に反映しております。

5. 財務諸表の監査報告における監査意見

無限定適正意見となっております。

以 上